

平成17年9月30日

各 位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役 中尾 光良
T E L (06)6209-8500(代表)

高圧化学工業設備増設のお知らせ

荒川化学工業の100%出資の子会社である高圧化学工業株式会社は、電子材料用素材を中心としたファインケミカル事業の拡大に伴い、クリーン環境対応生産設備の増設を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 経緯

荒川化学グループは、中期5ヵ年経営計画(平成15年4月~平成20年3月)において「新規事業の創生」を重要テーマのひとつとして掲げ、その取り組みを強化しております。

その一環として、機能材料事業部(荒川化学工業)では、高圧化学工業と協力してファインケミカル事業の拡大に取り組んでおり、高圧化学工業の保有する高圧水素化技術とファインケミカル製造技術を生かして電子材料関連分野での事業育成にも力を注いでいます。平成16年5月には、高圧化学工業の敷地内に新たに建屋を設け、電子材料用素材を中心としたファインケミカル製品の製造に最適なクリーン環境対応の生産設備を新設しました。本設備は、旺盛な需要にも支えられ生産開始よりフル稼働の状態が続いております。またグループとしての取り組みをより効率化するため、平成17年4月には高圧化学工業の営業および開発業務を荒川化学工業に移設しました。これにより生産専業メーカーとなった高圧化学工業では、高圧水素化技術およびクリーン環境対応生産設備による生産技術などのコア技術の向上と、品質保証体制の充実に経営資源を集中し、これらを推進しております。

そしてこの度、電子材料関連分野における市場のさらなる拡大が予想されたことと、今後の事業拡大を図るため、クリーン環境対応生産設備を増設する事を決定いたしました。

2. 増設するクリーン環境対応生産設備

設備名称 : 反応缶(SUS製) 500L 2基および付帯設備
投資金額 : 約160百万円
生産能力 : 40トン/年
設置場所 : 高圧化学工業株式会社 既設クリーン環境対応生産設備内
完工月 : 平成18年2月

3. 既設クリーン環境対応生産設備概要

設備名称 : F P設備
投資金額 : 約290百万円
生産能力 : 100トン/年
敷地面積 : 311m² (建屋217m²、付帯設備94m²)
建屋床面積 : 延べ434m² (1階、2階各217m²)
反応室清浄度 : クラス10万 (0.5μ基準)
反応缶 : G L 製) 100L、200L、500L、1000L 各1基
 S U S 製) 300L 1基
竣工日 : 平成16年5月12日

以上

[参考資料]

高圧化学工業株式会社

所在地 : 大阪市大正区鶴町5丁目1番12号

U R L : <http://www.koatsuchem.co.jp>

取締役社長 : 鶴見 利男

会社設立 : 1959年(昭和34年)3月

資本金 : 60百万円

売上高 : 1,421百万円(平成17年3月期)

主要株主 : 荒川化学工業株式会社(100%)

従業員数 : 45名

工場敷地 : 9,250m²

製造品目 : ファインケミカル製品(医薬品、香料、電子材料などの中間体)
フラン誘導体 その他の各種化合物

沿革 : 1959年(昭和34年)3月 森田高圧化学株式会社を設立。フラン誘導体など、各種化合物の製造を開始。

1967年(昭和42年)8月 荒川化学工業株式会社の経営傘下に入る。

1978年(昭和53年)12月 高圧化学工業株式会社に社名変更。

2000年(平成12年)9月 I S O 9 0 0 1 認証取得。

2004年(平成16年)5月 F P クリーン環境対応型設備の新設。